

高松市塩江美術館開館30周年記念
茂呂毅写真展 Benign Neglectージャパニーズ アメリカン ボンサイー

本展では、アメリカ合衆国サンフランシスコを拠点に制作活動をしている写真家の茂呂毅(もろたけし／1978年埼玉県生まれ)に焦点をあてました。

第二次世界大戦中、強制収容されるなど厳しい生活を強いられてきた日系アメリカ人の中には、終戦後、心の拠りどころとして、盆栽を始める人々もいました。これらの盆栽は、月日が経つにつれ、忘れ去られ、枯れていくものもありましたが、一人の日系アメリカ人の手によって一部が生き返り始めました。このような再生する盆栽を見て、茂呂は、移り行く盆栽の命の意味を考え、写真に残しました。

茂呂の写真作品71点とともに、大谷徳氏(香川県まんのう町在住)にご協力いただき、盆栽や山野草作品も展示しました。

- ◆会期 2024年4月13日(土)～5月26日(日) 38日間
◆入場者数 622人
◆担当学芸員 富田詩帆
- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
NICE TOWN 5月号
高松経済新聞 5月3日
読売新聞5月8日
四国新聞5月15日
- ◆イベント
アーティストレクチャー ☆教育普及の頁参照



(チラシ表)



(チラシ裏)



	作品名	材料	作家
1	Manzanar War Relocation Center Manzanar Cemetery Mounment (マンザナー強制収容所 慰霊塔)	写真	茂呂 毅
2	Manzanar War Relocation Center Watch Tower (マンザナー強制収容所 監視塔)	写真	茂呂 毅
3	Tule Lake Segregation Center The Gleaner (トゥーリーレイク分離センター 落穂拾い)	写真	茂呂 毅
4	Tule Lake Segregation Center Jail (トゥーリーレイク分離センター 拘置所)	写真	茂呂 毅
5	Tule Lake Segregation Center Abalone Mountain (トゥーリーレイク分離センター アワビ山)	写真	茂呂 毅
6	Tule Lake Segregation Center Castle Rock (トゥーリーレイク分離センター キャッセル・ロック)	写真	茂呂 毅
7	Manazar War Relocation Center (マンザナー強制収容所)	写真	茂呂 毅
8	Tule Lake Segregation Center Jail (トゥーリーレイク分離センター 拘置所)	写真	茂呂 毅
9	Manazar War Relocation Center Remnants of Japanese Garden (マンザナー強制収容所 日本庭園跡地)	写真	茂呂 毅
10	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
11	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
12	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
13	Camellia Sasanqua by Dennis Makishima at Ritsurin Garden (サザンカ デニスマキシマ作 栗林公園所蔵)	写真	茂呂 毅
14	Manzanar War Relocation Center and Tule Lake Segregation Center (マンザナー強制収容所とトゥーリーレイク分離センター)	写真	茂呂 毅
15～32	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
33	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
34	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
35～49	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
50～59	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
60～69	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
70	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
71	Untitled Bonsai (アンタイトル ボンサイ)	写真	茂呂 毅
72	盆栽・山野草作品	盆栽・山野草	大谷 徳

高松市塩江美術館開館30周年記念

渋田薫展 Sea Sky Nature

香川県在住の現代美術家・渋田薫(1980年 北海道生まれ)は、北海道の大自然の中で感性豊かに育ちました。“世界は音で繋がっている”という渋田独自の考えを元に、のびやかで、見るものを心躍らせる作品を制作しています。今年、渋田は制作拠点を京都から香川に移しました。波の音が聴こえる新たな環境で、海辺の風や海辺でたたずんだ際の孤独感など五感で感じるすべてを制作に生かしています。きらめく光が絶え間なく降り注ぐ瀬戸内から、渋田は新たな展開を求め自身と向き合っています。

本展では、当館が開館するきっかけとなった画家・熊野俊一(1908-2005)の作品に感銘を受けた渋田が、熊野の作品に感化されて生まれた新作をはじめ47点を紹介しました。耳を澄まし、心を澄まして観覧いただく展示となりました。

- ◆会期 2024年6月4日(火)～7月21日(日) 42日間
◆入場者数 793人
◆担当学芸員 富田詩帆

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
朝日新聞 6月23日
四国新聞 6月27日
高松経済新聞 6月27日
読売新聞 7月6日
RSK山陽放送 7月6日

- ◆イベント
アーティストレクチャー ☆教育普及の頁参照



(チラシ表)



(チラシ裏)



	作品名	材料	サイズ	作家	制作年
1	マッターホーン	キャンバスに油彩	65.2×53	熊野 俊一	1977
2	リカピトス	キャンバスに油彩	53×45.5	熊野 俊一	1977
3	花	キャンバスに油彩	65.2×53	熊野 俊一	1981
4	ニースの街	キャンバスに油彩	65.2×53	熊野 俊一	1977
5	ニースの海岸通り	キャンバスに油彩	65.2×53	熊野 俊一	1969
6	花	キャンバスに油彩	45.5×38	熊野 俊一	1984
7	コックリコ	キャンバスに油彩	41×31.8	熊野 俊一	1977
8	バスチャーの港	キャンバスに油彩	45.5×38	熊野 俊一	1981
9	シノンソー城	キャンバスに油彩	45.5×38	熊野 俊一	1968
10	夏の家(B)	キャンバスに油彩	65.2×53	熊野 俊一	1977
11	セヌ河畔	キャンバスに油彩	60.6×50	熊野 俊一	1977
12	高所から見たマッターホーン	キャンバスに油彩	41×31.8	熊野 俊一	1977
13	マッターホーン	キャンバスにアクリル、油彩	65×53	渋田 薫	2024
14	リカピトス	キャンバスにアクリル、油彩	46×53	渋田 薫	2024
15	花	キャンバスにアクリル、油彩	56×72	渋田 薫	2024
16	ニースの街	キャンバスにアクリル	53×65	渋田 薫	2024
17	ニースの海岸通り	キャンバスにアクリル	52×65	渋田 薫	2024
18	花	キャンバスにアクリル、油彩	45×38	渋田 薫	2024
19	コックリコ	キャンバスにアクリル	41×32	渋田 薫	2023
20	バスチャーの港	キャンバスにアクリル	38×46	渋田 薫	2024
21	シノンソー城	キャンバスにアクリル	45.5×38	渋田 薫	2024
22	夏の家	キャンバスにアクリル	53×65	渋田 薫	2024
23	セヌ河畔	キャンバスにアクリル	53×61	渋田 薫	2024
24	高所から見たマッターホーン	キャンバスにアクリル、油彩	45×38	渋田 薫	2024
25	Tenor	キャンバスにアクリル、油彩	193×300	渋田 薫	2022
26	Tenor	キャンバスにアクリル	193×280	渋田 薫	2023
27	Jupiter	キャンバスにアクリル	267×207	渋田 薫	2023
28	ochatsumi days	キャンバスにアクリル、油彩	345×197	渋田 薫	2021-2024
29	やまやま 1、2、3	ベベオセタカラー	—	渋田 薫	2024
30	とぶじゅもん	キャンバスにアクリル、油彩	—	渋田 薫	2023
31	air	ベベオセタカラー、レザー	30×30	渋田 薫	2024
32	Back BWV 1055	キャンバスにアクリル、油彩	14×62.5	渋田 薫	2024
33	レザーバッグ 夢、夜、旅	ベベオセタカラー、レザー	—	渋田 薫	2024
34	伊香保の和歌	キャンバスにアクリル、インク、温泉水	—	渋田 薫	2023
35	Cosmically	パネルにアクリル、油彩	190×170	渋田 薫	2012-2024
36	幼児寝顔(クリステル 4歳)	キャンバスにアクリル、油彩	35×27	渋田 薫	2024
37	妖精のパレリーナ	水彩、インク、紙	24×18	渋田 薫	2015
38	幼児寝顔(クリステル 4歳)	キャンバスに油彩	35×27	熊野 俊一	1972
39	緑の精	水彩、インク、紙	31.5×41.5	渋田 薫	2015
40	水天宮	アクリル、インク、紙	31×71	渋田 薫	2015
41	スリッパ 夜	ベベオセタカラー、レザー	—	渋田 薫	2023
42	スリッパ Sky	アクリル、インク、紙	19×24	渋田 薫	2022-2023
43	スリッパ Sea Nature	水彩、インク、紙	14×18	渋田 薫	2022-2023
44	Sky the Forest	キャンバスにアクリル、油彩	68×78	渋田 薫	2023
45	sea sky nature	キャンバスにアクリル、油彩	50×73	渋田 薫	2023
46	Chura Kamuy Song	キャンバスにアクリル、油彩	142×463	渋田 薫	2023
47	風波の舞踏踏	キャンバスにアクリル、油彩	180×716	渋田 薫	2023
48	Back to the Nature	キャンバスにアクリル、油彩、抹茶粉末、カドミウム、コバルト	550×207	渋田 薫	2020

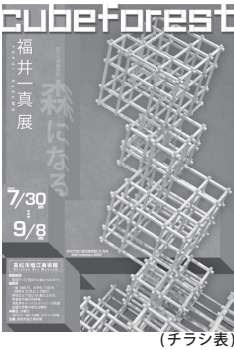
高松市塩江美術館開館30周年記念
福井一真展 cubeforest

立体造形作家の福井一真(ふくいかずま／1979年京都府生まれ)は、学生時代を新潟県上越市で過ごしました。学生時代に経験した「木」の素材の面白さと奥深さに惹かれ、現在は愛媛大学で教鞭をとりながら、接着剤や釘などを使用せずに木材を組み合わせる継手の一つである「四方十字組手(しほうじゅうじくみて)」を用いた立体作品を制作しています。

本展では、高さ4メートルに及ぶ新作《cubeforest 1》を含む、9点の立体作品を展示しました。福井が木製の立方体を複数組み合わせ作り出す力強い表現や多彩な表情を、お楽しみいただきました。

- ◆会期 2024年7月30日(火)～9月8日(日) 36日間
※警報発令に伴う臨時休館：8月30日(金)、31日(土)午前中
- ◆入場者数 1,262人
- ◆担当学芸員 富田詩帆
- ◆イベント
ワークショップ ☆教育普及の頁参照
アーティストレクチャー ☆教育普及の頁参照

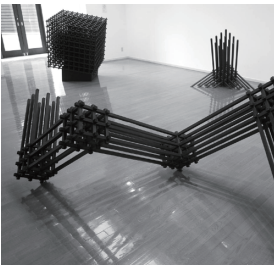
- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
四国新聞 8月26日
高松経済新聞 8月29日
読売新聞 9月3日



(チラシ表)



(チラシ裏)



	作品名	材料	制作年
1	cubeforest1	ホワイトウッド(2×4材)	2024
2	cubeforest31	カラントス	2024
3	cubework#10	ヒッコリー	2021
4	cubework#11	ケンバス	2022
5	cubework#12	ウェンジ、メープル	2023
6	cubework#13	アマゾンジャラ	2024
7	cubework#8	赤松	2018
8	cubework#9	赤松	2019
9	cubeforest1000	欧州赤松	2024

高松市塩江美術館開館30周年記念
早渕太亮展 耳をすますように見る

地域に根差した活動が続ける現代美術家・早渕太亮(はやぶちたいすけ／徳島県在住)が、香川県内最古の温泉郷として知られる塩江町をインスタレーション作品として表現しました。
水(温泉)の循環をテーマに、人間の時間軸から離れた位置で塩江という地域全体を俯瞰して眺めることを試んでいます。それら一連の作品群を鑑賞・体験することで、地域の魅力を見つめなおす契機となるような展示となりました。

- ◆会期 2024年9月15日(日)～10月27日(日) 37日間
- ◆入場者数 1,223人
- ◆担当学芸員 富田詩帆

- ◆イベント
アーティストレクチャー ☆教育普及の頁参照
トークセッション ☆教育普及の頁参照

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
四国新聞 10月10日



(チラシ表)



(チラシ裏)



	作品名	材料	制作年
1	対話	和紙・樹脂・LED	2024
2	土の中	布・和紙・ガラス・木・LED	2024
3	基点	ガラス・和紙・石膏	2024
4	遠い街	和紙・石膏	2024
5	街の灯り	和紙・樹脂・鏡・LED・木	2024
6	時間の標本	石膏	2024
7	ウィンドローイング	和紙・木炭・木	2024
8	空の標本	和紙・LED・木	2024
9	雲の上へのぼる	木・和紙・LED	2024

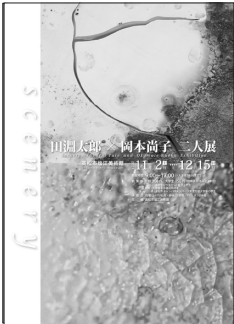
高松市塩江美術館開館 30 周年記念
田淵太郎×岡本尚子 二人展 scenery

陶芸家・田淵太郎(1977 年高松市出身)と美術作家・岡本尚子(1979 年大阪府茨木市出身)による二人展を開催しました。

田淵は、塩江の山中で窯(かま)を構え、白磁の新たな可能性を模索し続けています。窯焚きの灰や炎の力を受けた田淵の作品は、独特の表情で人々の心を引き付けます。また岡本は、田淵の作品のもつ独特なテクスチャーに美を見出し、自らの作品のモチーフにして描いています。

本展では、田淵が作った“うつわ”と岡本がそれを見て描き出した“絵画”を並べて展示しました。一見、抽象画のようで、その実どこまでも具象画である岡本の作品。生活の中で使用される身近な存在である“うつわ”をモチーフにすることで、私たちが見ているいつもの風景が新たな価値を帯びることに気づかせてくれます。2 人の作品が共鳴して生まれる風景をお楽しみいただきました。

- ◆会期 2024 年 11 月 2 日(土) ～ 12 月 15 日(日) 38 日間
- ◆主な新聞・雑誌等関連記事 四国新聞 11 月 14 日
- ◆入場者数 1,380 人
- ◆担当学芸員 富田詩帆
- ◆イベント
- アーティストレクチャー ☆教育普及の頁参照



(チラシ表)



(チラシ裏)



	作品名	作家	材料	技法	サイズ	制作年
1	UTSUWA－＃ 14 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		53×41	2022
2	UTSUWA－＃ 8 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		27.3×22	2021
3	UTSUWA－＃ 17 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		24.2×33.3	2023
4	UTSUWA－＃ 19 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		72.7×91	2024
5	round vase	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	13×13×h 59	2024
6	solid cube	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	18.5×11×h7.5	2021
7	round vase	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	25×23×h22	2024
8	round vase	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	47×47×h 17	2024
9	solid	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	16×14×h 15	2021
10	solid cube	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	14×9×24	2020
11	solid cube	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	22.5×16×h 25	2022
12	Round Line	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	78×4×4	2024
13	solid cube	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	38.5×17×h 4	2020
14	round O	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	53×40×h 36	2023
15	Square Board	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	16.5×12.5×h 3.5	2024
16	solid cube	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	17×17×17	2021
17	UTSUWA－＃ 1 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・アクリル・油彩		38×45.5	2019
18	UTSUWA－＃ 13 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		22×16	2022
19	Square Line	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	80×4.5×h 110	2024
20	Tea Bowl	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	12×11.5×h 10	2022
21	Tea Bowl	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	13×11.5×h 9.5	2021
22	Tea Bowl	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	11.3×11×h 10	2024
23	Tea Bowl	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	12.5×10.5×h 7.3	2021
24	Tea Bowl	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	12.5×9.5×h 11	2024
25	Round Board	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	52×10×h 52	2023
26	Round Line	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	155×4×h 78	2024
27	Square Board	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	16.5×3.5×h 12.5	2024
28	Square Board	田淵太郎	磁土	穴窯焼成	16.5×3.5×h 12.5	2024
29	UTSUWA－＃ 11 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		15.8×22.7	2022
30	UTSUWA－＃ 18 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		72.7×116.7	2023
31	UTSUWA－＃ 20 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		72.7×91	2024
32	UTSUWA－＃ 3 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		45×72	2021
33	UTSUWA－＃ 2 (Taro Tabuchi)	岡本尚子	パネル・綿布・白亜地・油彩		112×162	2020

高松市塩江美術館開館30周年記念
太田仙鳩書展 ―あなたの心に書を届けたい―

書家・太田仙鳩(おおたせんきゅう／徳島県在住)は、四国大学文学部書道文化学科で教鞭をとり、書道史、阿波・讃岐の近世史(儒学)について研究するとともに、書を分かりやすく社会に伝えることに尽力しています。太田の書くのびやかな線、墨の濃淡と余白の対比の美しさは見る者に様々な印象を与えます。

本展では、既存の枠にとらわれない新しい発想で書の魅力を発信する太田ならではの、ハンゲル書芸や世界遺産・ナスカの地上絵を模した作品など、海外の題材を用いた遊び心のある作品も展示しました。

- ◆会期 2024年12月24日(火)～2025年2月9日(日) 37日間
- ◆入場者数 635人
- ◆担当学芸員 富田詩帆

- ◆イベント
アーティストレクチャー ☆教育普及の頁参照
呈茶席 ☆教育普及の頁参照

- ◆主な新聞・雑誌等関連記事
四国新聞 1月9日
読売新聞 1月27日
高松経済新聞 1月31日



(チラシ表)



(チラシ裏)



作品名	作家	サイズ	制作年
1 浅沼益男の句「天は青 地は緑にて 鳥うたう」	太田仙鳩	135×35	2022
2 一字書「地」	太田仙鳩	174×143	2016
3 足利義根『棲龍閣詩集』より	太田仙鳩	136×69	2008
4 一字書「鎖」	太田仙鳩	69×67	2021
5 藤澤南岳の語「知天地之恩」	太田仙鳩	230×51	2010
6 甲骨文「瀧」	太田仙鳩	225×52 × 2	2016
7 岡倉天心の言葉『茶の本』より	太田仙鳩	113×34	2023
8 「美しきもの」	太田仙鳩	27×24	2024
9 大日如来の梵字と真言	太田仙鳩	27×24	2023
10 バスツールの言葉	太田仙鳩	95×35	2021
11 甲骨文「恵風」	太田仙鳩	138×54	2019
12 アンニョン	太田仙鳩	27×24	2021
13 陶芸書 時計「龍」(甲骨文)	太田仙鳩	17×16	2019
14 陶芸書 鼎皿「風」	太田仙鳩	15×15	2018
15 新年の挨拶	太田仙鳩	17.5×11	2015
16 家は上向きの矢印	太田仙鳩	9×11	2014
17 『無理問答』より	太田仙鳩	100×31 38×31	2018
18 Kohrinの詩「ようかんという名の猫2」	太田仙鳩	88×51	2023
19 ナスカの地上絵「ハチドリ」	太田仙鳩	135×76	2017
20 一字書「慮」(おもんばかり)	太田仙鳩	140×76	2024
21 ハンゲルの書芸「千里の道も一歩から始まる」	太田仙鳩	135×33	2010
22 世界の「ありがとう」	太田仙鳩	135×69	2012
23 『理趣経』五番偈	太田仙鳩	136×34 × 2	2021
24 自作の詩「海へ行く」	太田仙鳩	140×70	2007
25 甲骨文「昔」	太田仙鳩	141×73	2020
26 渦紋(弥生時代の銅鐸)	太田仙鳩	233×135	2011
27 連続渦紋(弥生時代の銅鐸)	太田仙鳩	273×35	2019
28 『般若心経』より「阿耨多羅三藐三菩提」	太田仙鳩	138×35	2022
29 高村光太郎の言葉『書について』より	太田仙鳩	136×34	2023
30 『李嬌詩』の語「鳳舞」	太田仙鳩	140×74	2023
31 ろうけつの書「静」	太田仙鳩	140×74	2022
32 三宅舞村の詩「鳴門渦潮」	太田仙鳩	136×51	2009
33 『老子』の語「善戦者不怒」	太田仙鳩	187×51	2020
34 自作の句「逆風も反転すれば追風となる」	太田仙鳩	136×35	2024
35 英文作品「ブルース・リーの言葉」	太田仙鳩	27×24	2023
36 ナスカの地上絵「鯨」	太田仙鳩	72×75	2023
37 レオ・レオニ『ちょっと変わった野ねずみフレデリック』より	太田仙鳩	69×35	2020
38 Open the door	太田仙鳩	14×28	2024

高松市塩江美術館開館 30 周年記念
Folklore ーいいつたえー

当館初代館長の藤沢秋義・元四国新聞社常務の津森明による共著『塩江の民話』の各物語を挿絵で描いた香川県出身の童絵作家・池原昭治による原画を紹介しました。

また本展では、ANTICAL 高松(代表：岡内大三)が古(いにしえ)の時代より水不足にあえいできた高松市の水にまつわる多様な信仰、民話、民謡、水利慣行(水利用のルール)についてリサーチし、制作した映像作品《Water Commune city》(2022)を上映しました。塩江町にある内場ダムなど土地の記憶に想いを馳せ、どのように未来に継承するか考える機会となるような展示を行いました。

- ◆会期 2025 年 2 月 18 日(火) ～ 3 月 16 日(日) 24 日間

◆入場者数 477 人

◆担当学芸員 富田詩帆

◆イベント
ダンス&演奏会 ☆教育普及の頁参照
- ◆主な新聞・雑誌等関連記事

NICE TOWN 3 月号

四国新聞 3 月 6 日

高松経済新聞 3 月 7 日

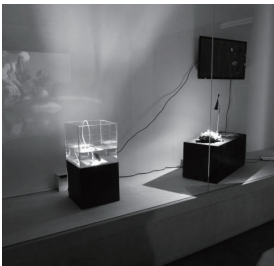
読売新聞 3 月 9 日



(チラシ表)



(チラシ裏)



作品名	作家	制作年
1 「ある日の樺川ダム」	監督／編集 岡内大三	2025
『Water Commune city』より「知覚民話 ー土街ー」「水の祝祭」		2022
2 『Water Commune city』より「渇水の記憶」	監督／編集 岡内大三	2022
3 『Water Commune city』より「プロローグ」、「ひょうげ祭り」、「水車家族」、「ヤマウミ」	監督／編集 岡内大三	2022
4 水底共同体	監督／編集 岡内大三	
5 沈んだ記憶	監督／編集 岡内大三	
6 『塩江の民話』	池原 昭治	
7 行基が開いた塩江温泉	池原 昭治	
8 北条時頼が興した最明寺	池原 昭治	
9 悲しい物言川の伝説	池原 昭治	
10 香東川の石を黒くした話	池原 昭治	
11 山田蔵人の強弓	池原 昭治	
12 別子八郎の話	池原 昭治	
13 別子八郎と娘イノ	池原 昭治	
14 別子の矢竹	池原 昭治	
15 あわれな場所の話	池原 昭治	
16 音地の地藏さんの話	池原 昭治	
17 片手石	池原 昭治	
18 美女に化けた狸	池原 昭治	
19 武士に化けた狸	池原 昭治	
20 おコメ狸の仕業	池原 昭治	
21 関所跡	池原 昭治	
22 山姥が背負った大石	池原 昭治	
23 豪族川田氏の活躍	池原 昭治	
24 中徳の雨降らずの道	池原 昭治	
25 鯉嶋野の話	池原 昭治	
26 チョウナ淵のなぞの滝壺	池原 昭治	
27 嫁が淵と姫石	池原 昭治	
28 檜の大蛇	池原 昭治	
29 繁茂していた樺の木	池原 昭治	
30 木綿織の由来	池原 昭治	
31 藤沢新太夫の活躍	池原 昭治	
32 地藏を斬った恩恵	池原 昭治	
33 白い蛇を祭った神社	池原 昭治	
34 借耕牛の話	池原 昭治	
35 蛸山と高山と鷹山	池原 昭治	
36 殿様の鷹狩り	池原 昭治	
37 殿様の鮎捕り	池原 昭治	
38 上西の焼堂	池原 昭治	
39 貝の股の伝承	池原 昭治	
40 甲斐の股城	池原 昭治	
41 内場城焼き討ちの話	池原 昭治	
42 焼き米	池原 昭治	
43 岩部の寺の内	池原 昭治	
44 戸石舞山の悲哀	池原 昭治	
45 予科練の話	池原 昭治	
46 少女レビュー	池原 昭治	
47 国境紛争を解決した八兵衛	池原 昭治	
48 お流れになった JR 塩江駅	池原 昭治	
49 戦前の花屋旅館	池原 昭治	
50 山の中の海軍部隊	池原 昭治	

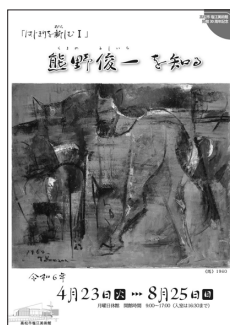
(2) 常設展

【第Ⅰ期常設展】

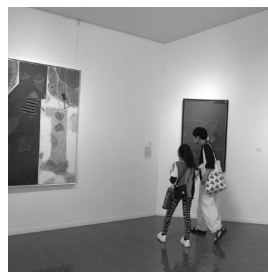
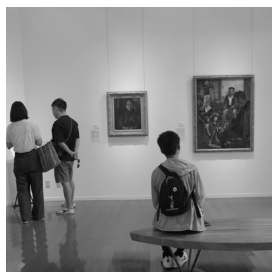
高松市塩江美術館開館30周年記念 はじまりを新しむⅠ 熊野俊一を知る

開館30周年の新たなはじまりを記念して、熊野俊一の渡欧以前の初期作品を中心に、開館始動時ころに収蔵された国内のアーティストの作品もあわせて30点を紹介しました。

- ◆会期 2024年4月23日(火)～8月25日(日) 108日間
- ◆入場者数 2,363人
- ◆担当学芸員 毛利直子・富田詩帆



(チラシ)



【第Ⅱ期常設展】

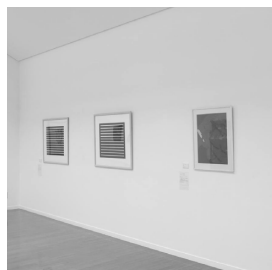
高松市塩江美術館開館30周年記念 はじまりを新しむⅡ 表現のころみ

渡欧後の熊野俊一の作品と開館当時から寄託いただいている海外アーティストの作品31点を紹介しました。

- ◆会期 2024年9月3日(火)～12月22日(日) 96日間
- ◆入場者数 2,821人
- ◆担当学芸員 富田詩帆



(チラシ)



【第Ⅲ期常設展】

高松市塩江美術館開館30周年記念 はじまりを新しむⅢ 日々是好日

日常の何気ない風景やそこにいる人々、和やかなひと時を切り取った作品33点を紹介しました。

- ◆会期 2025年1月4日(土)～4月13日(日) 86日間(3月31日まで：74日間)
- ◆入場者数 1,476人(3月31日まで：1,229人)
- ◆担当学芸員 富田詩帆



(チラシ)



(1) 講演会

◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。

※「茂呂毅写真展 Benign Neglect」関連

日時：4月13日(土) 14：00～15：00

講師：茂呂毅(出品作家)

場所：企画展示室(要観覧券)

参加者数：27人



◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。

※「渋谷薫展 Sea Sky Nature」関連

日時：6月29日(土) 14：00～15：00

講師：渋谷薫(出品作家)

場所：企画展示室(要観覧券)

参加者数：29人



◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。

※「福井一真展 cubeforest」関連

日時：8月17日(土) 14：00～15：00

講師：福井一真(出品作家)

場所：企画展示室(要観覧券)

参加者数：14人



◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。

※「早瀬太亮展 耳をすますように見る」関連

日時：9月21日(土) 14：00～15：00

講師：早瀬太亮(出品作家)

場所：企画展示室(要観覧券)

参加者数：25人



◆トークセッション

「地域とアート、これからについて」と題して、出演者がそれぞれの視点から地域のアートについて語っていただきました。

※「早瀬太亮展 耳をすますように見る」関連

日時：9月29日(日) 10：00～11：00

出演：早瀬太亮(現代美術家)、田淵太郎(陶芸家)、渋谷薫(現代美術家)

場所：デッキ

参加者数：26人



◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。

※高松市塩江美術館開館30周年記念「田淵太郎×岡本尚子 二人展『scenery(シーナリー)』」関連

日時：①11月3日(日・祝) 14：00～14：30、②11月23日(土・祝) 14：00～14：30

講師：①田淵太郎(出品作家)・岡本尚子(出品作家)、②田淵太郎(出品作家)

場所：企画展示室(要観覧券)

参加者数：101人



◆アーティスト・レクチャー

作家本人による作品制作などに関するレクチャー。

※「太田仙鳩書展 —あなたの心に書を届けたい—」関連

日時：1月25日(土) 11：00～12：00、14：00～15：00

講師：太田仙鳩(出品作家)

場所：企画展示室(要観覧券)

参加者数：71人



(2) ワークショップ

◆つないでつないで不思議なカタチ

つまようじ100本をグルーガンでつなげて、不思議なカタチを制作するワークショップ。

※「福井一真展 cubeforest」関連

日時：8月11日(日) 14：00～16：00

講師：福井一真(出品作家)

対象：小学校3年生以上

受講料：500円(材料費100円)

場所：デッキ

参加者数：14人



◆夏の風鈴づくり教室

陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。
日時：7月20日(土)、28日(日) 各日10:00～11:30、13:30～15:00
講師：貴志勉(陶芸家)
場所：デッキ
受講料：500円(材料費1,000円)
参加者数：53人



◆陶芸教室

全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。
日時：9月7日、14日、10月5日、12日、19日、26日、11月9日、23日
全て土曜日 10:00～12:30
講師：田淵太郎(陶芸家)
場所：陶芸室
受講料：2,000円(材料費6,800円)
参加者数：延べ80人



(3) イベント・その他

◆「塩江温泉鉄道 塩江美術館駅プロジェクト」

塩江美術館開館30周年関連ワークショップとして、竹で制作したトンネル内部に、地域の方々や来館者がレンガ状の紙に描いたものを飾り付けた。

展示期間：6月～12月
場所：庭園
参加作品：1,337枚(14団体及び個人)



◆「出張美術館」みんなの病院文化祭2024

みんなの病院文化祭2024に出張美術館として、香川県内の風景が描かれた「川瀬巴水」の版画9点を展示するとともに、ギャラリートークも行った。

日時：10月26日(土) 13:00～15:30
場所：高松市立みんなの病院
参加者数：50名



◆ワークショップ

「高松アーティスト・イン・レジデンス2025」関連イベントとして、高松の池や川の風景をプラスチックの板にスケッチし、石膏に写しとってレリーフ状の作品を制作しました。

日時：12月7日(土) 13:00～16:00
講師：西村涼(銅板画家)
場所：陶芸室
参加者数：10人



◆企画展関連イベント「呈茶席」

「太田仙鳩書展」関連イベントとして、呈茶席を開催。

日時：1月11日(土) 10:00～15:00
場所：企画展示室
参加者数：77人



◆企画展関連イベント「ダンス&演奏会」

「Folklore」関連イベントとして、「水と民話」をテーマとしたダンスとヴァイオリン演奏会を開催。

日時：2月23日(日・祝) 13:00～14:00、3月16日(日) 16:00～17:00
出演者：カタタチサト(ダンス)、南口恵里(ヴァイオリン)
場所：企画展示室
参加者数：102人



◆美術館の日

展覧会の観覧料を無料にしたほか、県内の中学校美術部員によるワークショップ「中学校美術部といっしょにものづくり!!」を開催。

日時：8月3日(土)
参加者数：402人



◆ちょこっとアート

「チラシでつくる 三角コインケース」

日時：3/22～4/13の土・日曜日
場所：デッキ
参加者数：3/31まで 18人



3. 資料

(1) 新収蔵作品

新収蔵品作品点数							
区分	洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他(資料)	計
購入	—	—	—	1	—	—	1
寄贈	4	—	—	—	—	—	4
計	4	—	—	1	—	—	5

収蔵作品総点数							
区分	洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他(資料)	計
購入	4 7	—	6	9	—	1	6 3
寄贈	6 3 0	7	6	6	1 1 9	4 5 8	1, 2 2 6
計	6 7 7	7	1 2	1 5	1 1 9	4 5 9	1, 2 8 9

◆購入作品

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1	田淵 太郎	square rod	2024	磁土、穴窯焼成	110 × 80 × 4.5cm

◆寄贈作品

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	規格
1	渋谷 薫	高所より見たマッターホーン	2024	カンヴァスにアクリル、油彩	41 × 32cm
2	渋谷 薫	コックリコ	2024	カンヴァスにアクリル	41 × 32cm
3	渋谷 薫	ニースの海岸通り	2024	カンヴァスにアクリル	52 × 65cm
4	渋谷 薫	夏の海	2024	カンヴァスにアクリル	53 × 65cm

(1) 貸館

企画展示室・ホール			
展覧会名	会期	日数	入場者数
絵画展「Ordinariness - a Turning point -」	2024/4/3 ～ 4/7	5	112
宴計画 2025『猫と春めく白夜の宴』	2025/3/20 ～ 3/29	9	216
計 2 展		14	328